

# JPEC BULLETIN

## 研修センター ニュース

Jun. 2021

編集・発行

公益財団法人

日本薬剤師研修センター

東京都港区赤坂1-9-13

三会堂ビル5F 〒107-0052

電話 (03)3568-8201

FAX (03)3568-0821

URL <http://www.jpcc.or.jp/>

製作 (株)薬事日報社

### 後発医薬品と医薬分業

厚生労働省 保険局 医療課 薬剤管理官 紀平 哲也

2021年に入って、後発医薬品の製造販売業者が製造違反により業務停止処分を受ける事例が続き、後発医薬品の信頼性の問題が取り沙汰されています。後発医薬品の品質については、使用促進を始めた当初から心配の声があったところ、数量目標80%に届こうというところまで後発医薬品の使用が進んできたことは、医師・薬剤師をはじめとする関係者のご理解とご尽力によるものと思います。そうした中、後発医薬品の信頼性を損ないかねない事案が相次いで生じたことから、あらためて後発医薬品の製造・供給体制について見直す必要があるとの意見が出ています。

◆ 今般の製造違反の問題が、いわゆる化血研問題を経てもなお長年続けられてきていたということは、製造販売業・製造業の許可やGMP調査を担当している行政にとっても考え直させられる問題です。また、製造違反を続けてきた背景として、後発医薬品の使用促進に伴う需要増に応えるためとの声もありますが、「量」を確保するために「質」がないがしろにされてきた、と見なされても致し方ない状況です。

ここでふと、どこかで似たような話を聞いたことがあるような気がしないでしょうか。

○ 医薬分業が進められ、処方箋受取率（いわゆる医薬分業率）が70%超まで進んできた中で、薬局・薬剤師のあり方についてあらためて問われたのが6年前。「患者のための薬局ビジョン」が策定され、「対物業務から対人業務へ」と薬局薬剤師の意識と業務のあり方の変革を進めようとしてきた中、無資格調剤や処方箋付替え問題、偽造薬の購入・調剤など、薬局の信頼性を損ないかねない事案が続きました。医薬分業の推進により増え続けてきた処方箋の「量」に対応する状況は終わり、「質」の確保・向上が求められている薬局薬剤師の状況は、後発医薬品の置かれている状況と相通じるところがあるのかもしれませんが。

○ これらの問題の再発防止に向けて、コンプライアンス（法令遵守）とガバナンス（管理）の強化の徹底が求められています。本年8月に施行される改正薬機法においても、製造販売業者及び薬局開設者それぞれにおいて法令遵守体制の整備等が求められます。しかし、コンプライアンスとは本来、法令の遵守だけでなく、社会規範や倫理の遵守が求められるものです。法令や調剤報酬に従えばいいということではなく、医療資格者たる薬剤師にとっての職業倫理とは何かをあらためて自ら問い直し、日々の業務と自己の研鑽に取り組むことが、顧客からの信頼を得るために必要なことではないかと思います。

### 今月の主な記事

#### 巻頭

・後発医薬品と医薬分業 1

#### センター主催研修会

・e-ラーニングのご案内 2

#### センター便り

・薬剤師研修・認定電子システム（PECS）について 5

#### 事業計画等

・令和3年度 事業計画書 6

・令和3年度 収支予算書 9

・令和3年度 収支予算書（正味財産増減方式）

（内訳表） 10

・研修認定薬剤師 認定証発行数の推移 11

・漢方薬・生薬認定薬剤師 認定証発行数の推移 11

・認定実務実習指導薬剤師数 12

## e-ラーニングのご案内

下記、当財団主催研修会が、e-ラーニングで研修できます。受講のお申込は、当財団ホームページ上の「薬剤師研修支援システム」からとなります。

詳細は、当財団ホームページに掲載していますので、そちらをご確認の上、お申込下さい（定員のあるものは、定員になり次第、受付締切となります）。

なお、研修会によっては、継続的に受講申込を受け付けています。研修会名称・収録日が同じものは、同一の研修会ですのでご注意ください。

### <医薬品・医療機器法に基づく医薬品の安全対策>

医薬品・医療機器法に基づく医薬品の安全対策（収録日：令和3年3月5日）

### <薬剤疫学入門セミナー>

薬剤疫学入門セミナー（収録日：令和2年11月24日）

### <薬剤師が知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識>

薬剤師が知っておきたいバイオ医薬品の基礎知識（収録日：令和2年1月27日）

### <病態と薬理を理解して薬学的ケアを実践する研修会（病態・薬理シリーズ）>

国際感染症Ⅰ－国際感染症の現状と耐性菌への対処－（収録日：平成30年11月4日）

国際感染症Ⅱ－感染症の国際化に対する対応－（収録日：令和元年10月27日）

国際感染症Ⅲ－予防接種をめぐる諸問題－（収録日：令和2年10月11日）

肺がん（収録日：平成30年6月24日）

血液がん（収録日：令和元年7月21日）

### <漢方薬・生薬薬剤師講座> ※申込受付期間 2021年4月15日～7月15日

漢方薬・生薬薬剤師講座28（収録日：平成31年4月21日～令和元年12月8日）

### <認定実務実習指導薬剤師 更新講習（講座④）>

**【注意】** この講習の受講対象者は、認定実務実習指導薬剤師の認定を取得してから5年以上が経過し、認定実務実習指導薬剤師の更新申請を予定している方です。

（認定実務実習指導薬剤師更新講習会は、研修認定薬剤師制度の受講単位は取得できません）

**【更新講習】** 2021年度 認定実務実習指導薬剤師 更新講習（講座④）



### 研修認定薬剤師制度認定対象研修会（集合研修）

6月・7月の認定対象研修会をご案内いたします。これらの研修会の認証番号はG01です。

研修会によっては、参加資格、参加費用が必要な場合、定員により受講申込を締め切っている場合等がありますので、それぞれの連絡先にご確認の上、ご参加下さい。一覧表で研修会名称の前に「㊦」のついている研修会に参加し修得した単位は、「漢方薬・生薬認定薬剤師更新のための単位」として、「㊧」のついている研修会に参加し修得した単位は、「小児薬物療法認定薬剤師更新のための単位」としてもご利用できます。なお、直近の情報については、当財団ホームページでご案内しておりますので、併せてご活用下さい（情報が変更になっている場合もありますので、ご注意下さい）。

開催日	研修会名称／研修会内容	主催者 連絡先	開催場所	単位
<b>関東・甲信越地区（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、長野）</b>				
6/5(土)	薬剤師のためのスキルアップセミナー エキスパート養成講座 わかりやすい臨床統計 第3回	東京理科大学薬学部 sccper@admin.tus.ac.jp（研修担当）	医療薬学教育研究支援センター（東京理科大学神楽坂校舎3号館）（東京都）	2
6/5(土)	薬剤師のためのスキルアップ講座 新型コロナウイルス感染症とワクチンの基礎 他	東京理科大学薬学部 sccper@admin.tus.ac.jp（研修担当）	医療薬学教育研究支援センター（東京理科大学神楽坂校舎3号館）（東京都）	2
6/12(土)	㊦・㊧ 第16回 中医学研修講座臨床の部 小児科	一般財団法人 東方医療振興財団 gakkai@jptoho.or.jp（佐藤）	東方医療振興財団 事務局（東京都）	1
6/12(土)	第119回 薬剤師卒後教育研修講座 がん、在宅医療、緩和医療を考える	千葉大学大学院薬学研究院 sotsugo_pharm@ML.chiba-u.jp（佐藤）	千葉大学大学院 薬学研究院I期棟臨床薬理学研究室（千葉県）	2
6/19(土)	第7期 CP研究会 第4回（Web開催） ドイツの薬局の構造・機能的部分 緊急避妊薬販売6年を迎えて	一般社団法人 日本コミュニティファーマシー協会 info@ja-cp.org（吉岡）	日本コミュニティファーマシー協会（東京都）	1
6/24(木)	ワンランク上の薬剤師を目指す研修会 これからの薬業連携	一般社団法人 浅草薬剤師会 asayaku@gmail.com（坂口）	一般社団法人 浅草薬剤師会 事務所（東京都）	1
6/24(木)	ファーマシーセミナーアドバンス オンライン研修（6月24日開催） 地域連携をどう構築する、入退院時の連携	一般社団法人 日本薬局学会 03-3243-3061（木内）	一般社団法人 日本薬局学会（東京都）	1
6/26(土)	薬剤師のためのスキルアップセミナー エキスパート養成講座 わかりやすい臨床統計 第4回	東京理科大学薬学部 sccper@admin.tus.ac.jp（研修担当）	医療薬学教育研究支援センター（東京理科大学神楽坂校舎3号館）（東京都）	1
7/16(金) 7/17(土)	第50回 日本心臓血管作動物質学会 心臓血管研究の歴史と未来への継承－次の半世紀に向けて	日本心臓血管作動物質学会 jscr50@shinshu-u.ac.jp（市川）	信州大学医学部附属病院（長野県）	6
<b>東海・北陸地区（静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井）</b>				
6/13(日)	㊦ 第48期 東海漢方入門講座 6月例会 誰にも分かる漢方基礎 気血津液 他	東海漢方協議会 kanpou.tokai@gmail.com （東海漢方協議会事務局 古橋）	名古屋市立大学（愛知県）	3
6/25(金)	会員向けレベルアップセミナー 高血圧の分類と特徴を理解して服薬指導に生かす 他	特定非営利活動法人 名古屋臨床薬剤師研究会 ncp@nicp.jp（後藤）	高見研修センター（愛知県）	2
7/10(土)	第5回 日本臨床薬理学会 東海・北陸地方会 臨床薬理のエビデンスの発信	岐阜薬科大学 jscpt-t-h@gifu-pu.ac.jp （第5回 日本臨床薬理学会 東海・北陸地方会運営事務局）	じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）（岐阜県）	3
7/11(日)	㊦ 第48期 東海漢方入門講座 7月例会 誰にも分かる漢方基礎 五行説と五味 他	東海漢方協議会 kanpou.tokai@gmail.com （東海漢方協議会事務局 古橋）	名古屋市立大学（愛知県）	3
7/16(金)	レベルアップセミナー 今日の糖尿病治療・薬剤の特徴 他	特定非営利活動法人 名古屋臨床薬剤師研究会 ncp@nicp.jp（後藤）	高見研修センター（愛知県）	2
<b>近畿地区（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）</b>				
6/6(日)	㊦ 一般社団法人 日本漢方交流会 学術部主催 第18回 慢性・難病フォーラム 胃腸症状に対する漢方治療 脾虚証を中心に	一般社団法人 日本漢方交流会 shimaya-p@jp-members.net （学術部 真鍋）	大阪コロナホテル（大阪府）	3



開催日	研修会名称／研修会内容	主催者 連絡先	開催場所	単位
6/20(日)	「薬剤師のさらなる医療への貢献を目指して」第2回 運動器疾患の予防と治療を学ぶ	摂南大学薬学部 cinvention@mons-sapporo.co.jp (株式会社MONS 山下)	OIT梅田タワー 常翔ホール (大阪府)	2
7/25(日)	「薬剤師のさらなる医療への貢献を目指して」第3回 栄養療法の基礎を学ぶ	摂南大学薬学部 convention@mons-sapporo.co.jp (株式会社MONS 山下)	OIT梅田タワー 常翔ホール (大阪府)	2
7/31(土)	② 入門講座 症例で学ぶ中医学 (WEB) 肺・大腸の弁証と治療	一般社団法人 日本中医学会 nihonchuigakkai@gmail.com (鈴木)	新石原ビル (WEB開催) (大阪府)	2
中国・四国地区 (鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知)				
6/6(日)	第45回 幹の会講演会 造血器腫瘍とがんゲノム医療 他	一般社団法人 香川県薬剤師会 080-2000-9702 (梅本)	香川県社会福祉総合セン ター 7階会議室 (香川県)	1
6/10(木)	岩国医療圏生涯教育研修会 肺がんの化学療法～最近の話題～	一般社団法人 岩国薬剤師会 0827-29-0488 (太夫本)	国立病院機構 岩国医療 センター 4階会議室 (山口県)	1
6/18(金)	香川県薬剤師 学術講演会 脊椎関節炎を見逃さないために - 生物学的製剤治療 の最新情報	一般社団法人 香川県薬剤師会 080-8134-2859 (今井)	香川県社会福祉総合セン ター 1階「コミュニ ティホール」(香川県)	1
九州地区 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄)				
6/12(土)	ふくやくセミナー (オンライン) 日常診療における便秘治療の重要性	ふくやくセミナー support@fukujin-p.co.jp (梅野)	持田製薬株式会社 (福岡県)	1

### 研修認定薬剤師制度 集合研修対象 インターネット研修

当財団では平成14年6月より、インターネット研修を研修形態の1つとして取り入れました。このインターネットによる研修は、当財団に登録されたインターネット研修実施機関が行います。インターネット研修のメリットは、国内・外に在住する薬剤師が必要な研修項目を選択し、時間にとらわれることなく自己計画によって学習できることにあります。各研修会を受講し、単位申請を行うと、「集合研修」としての単位が修得できます。90分の講義に対して1単位の受講シールを発行します。是非ご活用下さい。

※インターネット研修による集合研修は、当財団が認めたテストまたはアンケート等を含めた所定の課程に則って行います。

研修会名称	実施機関
インターネット薬剤師生涯教育講座	ファーマストリーム ( <a href="http://www.pharmastream.net/">http://www.pharmastream.net/</a> )
メディカルナレッジ	医療教育研究所 ( <a href="https://www.medical-knowledge.net/">https://www.medical-knowledge.net/</a> )
薬剤師のためのe-ラーニング	MPラーニング ( <a href="https://www.mp-learning.com/">https://www.mp-learning.com/</a> )
副作用診断教育プログラム	徳島文理大学香川薬学部 ( <a href="https://kp.manabinaoshi.jp/">https://kp.manabinaoshi.jp/</a> )
地域包括ケアを担う薬局薬剤師の為のインターネット研修	杉浦記念財団 ( <a href="http://sugi-zaidan.jp/iseminar_new/index.html">http://sugi-zaidan.jp/iseminar_new/index.html</a> )
かかりつけ薬剤師.com	医歯薬アドバンス365 ( <a href="https://www.かかりつけ薬剤師.com/">https://www.かかりつけ薬剤師.com/</a> )
AMEE薬剤師生涯学習プログラム	医薬教育倫理協会 ( <a href="https://pll.amee.or.jp/">https://pll.amee.or.jp/</a> )
「サブネット」かかりつけ薬剤師の為のサプリメント・健康食品動画研修プログラム	NHPインターナショナル認定機構 ( <a href="http://sapnet.jp/">http://sapnet.jp/</a> )

## 新規加入賛助会員のご紹介

飯塚 則廣(埼玉県) 秦 誠治(大阪府)  
(敬称略)

### <特別賛助会員>

合同会社スマスタ

研修認定薬剤師数	110,686名	認定実務実習指導薬剤師数	26,178名	小児薬物療法認定薬剤師数	770名
漢方薬・生薬認定薬剤師数	3,626名	個人賛助会員数	366名	特別賛助会員数	33社

令和3年4月末日現在

※なお、各都道府県別認定薬剤師の氏名は当財団ホームページに掲載しています(3か月毎に更新しています)。



### 薬剤師研修・認定電子システム(PECS)について

当財団では、薬剤師の研修及び認定手続きの電子化を進めています。

これは、現在は書類を用いて行っているものを、すべて電子的な方法で行うこととするものです。

そのため、新たに、薬剤師研修・認定電子システム(PECS)を構築しています。PECSの稼働後は、研修の受講や認定申請等はこのシステムのみで行うことになります。

1. 概要をホームページに掲載していますので、ご覧下さい。随時更新します。掲載場所はホームページの「各種認定制度等を知る」→「認定手続き等の電子化(お知らせ)」です。
2. 現在、本稼働に先行して薬剤師のPECS登録を行っています。登録方法は上記1の掲載場所の「2-2 薬剤師のPECS登録(令和3年3月版)」に記載していますので、良く読んでいただき、ご登録下さい。
3. 質問は電子メールのみで受け付けます。pecs-info@jpec.or.jpにお寄せ下さい。回答は個別には行わず、取りまとめてホームページに掲載します。
4. 電子化後は研修受講シールは発行されませんが、それまでに取得した研修受講シールは、薬剤師研修手帳又は研修受講シール整理表に貼付して、認定申請時に提出して下さい。



## 令和3年度 事業計画書

あらゆる職域の薬剤師のために生涯研修の機会を提供するとともに、生涯研修の成果を認定することにより、わが国の薬剤師の資質向上を図ることを目的に以下の研修・認定事業を実施する。また、薬剤師研修・認定電子システムを構築して、業務の電子化を進め、受講者、認定者等の利便性の向上を図るとともに、不正の防止に資する。

### 1. 薬剤師研修・認定電子システム（略称PECS）

研修認定薬剤師制度、漢方薬・生薬認定薬剤師制度、小児薬物療法認定薬剤師制度及び認定実務実習指導薬剤師認定制度を包括する薬剤師研修・認定電子システムを構築し、運用する。このシステムは、研修の開催、研修の受講、研修認定等全般に関して、電子的に処理するものである。薬剤師の登録については令和2年度に運用を開始しており、令和3年秋の本稼働を予定する。

### 2. 研修認定薬剤師制度

#### (1) 認定証の発行

あらゆる職域の薬剤師を対象に、「研修認定薬剤師」として生涯研修実績を認定する。令和3年度は、新規、更新あわせて約30,000件の認定証発行を予定する。また、薬剤師生涯学習達成度確認試験の合格者であって、研修認定薬剤師の認定を受けた者に対しては、生涯学習指導薬剤師の称号を付与し、その旨を記載した研修認定薬剤師証を交付する。

#### (2) 委員会等の開催

研修認定制度委員会を2、3回、薬剤師研修協議会連絡会を適宜、それぞれ開催する。

#### (3) 研修単位の交付

認定に必要な研修単位の発行対象となる研修会等を企画・実施する研修会実施機関（非営利団体）を審査し、登録することにより、薬剤師の研修を推進する。

#### (4) 制度の見直し

薬剤師研修・認定電子システムの構築・稼働に伴い、制度を見直す。

### 3. 漢方薬・生薬認定薬剤師制度

#### (1) 認定証の発行

日本生薬学会と共同で、漢方薬・生薬に関し専門性の高い薬剤師を養成し、「漢方薬・生薬認定薬剤師」として認定する。令和3年度は、新規、更新あわせて約1,200件の認定証発行を予定する。

#### (2) 漢方薬・生薬研修委員会

漢方薬・生薬認定薬剤師制度の運営方法等について検討するため、年に3回程度、漢方薬・生薬研修委員会を開催する。

#### (3) 漢方薬・生薬研修の実施

##### (ア) 認定研修

##### ① 座学コース

東京会場にて実施する。募集予定者数80名。

##### ② インターネットコース

ストリーミング型で配信する。募集予定者数500名。

##### ③ 薬用植物園実習

全国の薬用植物園約50か所にて実施する。

##### (イ) 更新者向け研修

##### ① 漢方薬・生薬薬剤師講座

収録済のDVDの一部を更新用必須研修としてストリーミング型で配信する(e-ラーニング)。

##### ② 薬用植物園実習研修（春、秋2回）

全国の薬用植物園約50か所にて実施する。

#### (4) 試問の実施

所定の漢方薬・生薬研修会の修了者に対し試問を行い、合格証を発行する。

- (5) 制度の見直し  
薬剤師研修・認定電子システムの構築・稼働に伴い、制度を適宜見直す。

#### 4. 小児薬物療法認定薬剤師制度

- (1) 認定証の発行  
日本小児臨床薬理学会と共同で、小児科領域において医薬品に関わる専門的立場から医療チームの一員として小児薬物療法に参画するための能力と適性を備え、さらに患児とその保護者等に対しても適切な助言及び行動ができる薬剤師を養成し、「小児薬物療法認定薬剤師」として認定する。令和3年度は新規、更新あわせて250件の認定証発行を予定する。

- (2) 小児薬物療法研修委員会  
小児薬物療法認定薬剤師制度に必要な研修内容及び制度の運営方法について検討するため、年に数回、小児薬物療法研修委員会を開催する。また、試験問題の作成等を行うため、小児薬物療法認定薬剤師認定試験問題作成委員会を年に数回開催する。

- (3) 小児薬物療法研修の実施  
株式会社日経ラジオ社（ラジオNIKKEI）に委託し、e-ラーニングにより小児薬物療法研修を実施する。令和3年度は令和3年7月から令和4年2月まで、36コマ（1コマ約1時間）を順次配信する。募集予定者数250名。あわせて、1日病院実務研修を実施する。

- (4) 試験の実施  
e-ラーニング研修修了者に対し試験を実施する。

- (5) 制度の見直し  
薬剤師研修・認定電子システムの構築・稼働に伴い、制度を適宜見直す。

#### 5. 認定実務実習指導薬剤師制度

- (1) 認定証の発行  
薬学生の実務実習の際に指導に当たることのできる薬剤師として、「認定実務実習指導薬剤師」

を認定し、認定証を発行する。令和3年度は新規、更新あわせて約3,000件の認定証発行を予定する。

- (2) 認定実務実習指導薬剤師認定委員会の開催  
認定実務実習指導薬剤師の要件、講習会の内容等を検討するため、年2回程度認定実務実習指導薬剤師認定委員会を開催する。

- (3) 認定実務実習指導薬剤師養成講習会の共催申請受付  
講座①、講座②及び講座③並びに講座④(更新講習)の講習会開催(共催)申請を受け付ける。

#### 6. 薬剤師生涯学習達成度確認試験

- (1) 試験の実施  
薬剤師の関係主要団体5団体が共同で行う生涯学習の評価システムである薬剤師生涯学習達成度確認試験の第5回目を令和3年7月4日に実施する。

- (2) 合格証の発行  
令和3年度は、受験者数300名を予定。合格者には合格証を交付する。

- (3) 委員会等の開催  
薬剤師生涯学習達成度確認試験の適正な実施のため、「運営協議会」を年1回程度、「実務委員会」を年3回程度開催する。

#### 7. 研修会等の開催

- (1) 病態・薬理シリーズ研修の実施

(ア) 座学研修

- ① 上期 胃がん（東京、大阪）

募集予定者数各100名

- ② 下期 高血圧症（東京、大阪）

募集予定者数各100名

(イ) e-ラーニング

(ア)を収録し、ストリーミング型で配信する。令和3年度は、胃がん、血液がん、肺がん、国際感染症Ⅰ、国際感染症Ⅱ及び国際感染症Ⅲの予定。

- (ウ) ビデオ・オン・デマンド (VOD) 研修 (ケアネット)  
株式会社ケアネットによりe-ラーニング配信する。配信内容は(イ)と同じ。
- (2) PMDA共催研修会の開催
- (ア) 医薬品承認申請実務担当者研修会 (東京、大阪)  
企業の医薬品承認申請実務担当者を対象に、承認申請実務の円滑化のための座学研修会を実施する (参加予定約400名)。
- (イ) GLP研修会 (東京、大阪)  
企業の非臨床試験担当の研究者等を対象に、GLPの現況に関する座学研修会を実施する (参加予定約300名)。
- (ウ) GCP/GPSP研修会 (東京、大阪)  
企業の治験担当者、臨床研究実施施設の医師、薬剤師、看護師、CRC等を対象にGCP/GPSPの現況に関する座学研修会を実施する (参加予定約700名)。
- (3) 日本薬剤師会共催研修会の開催 (健康サポート薬局研修)  
日本薬剤師会と協力して実施する健康サポート薬局研修の研修修了証の交付を行う。
- (4) 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催  
更新講習 (講座④) について、ストリーミング型で配信する (e-ラーニング)。
- (5) その他のe-ラーニングの実施  
一般社団法人くすりの適正使用協議会、PMDAなどの薬学関連団体と協議のうえ、薬剤師の資質向上に資する内容のコンテンツの作成を行い、e-ラーニング又はビデオ・オン・デマンド (VOD) 研修 (ケアネット) を行う。
8. 広報・研修等支援
- (1) 広報  
広報の媒体としてホームページ、研修センターニュース、JPECニュースレター (メールマガジン) を用い、研修・認定制度の状況、研修会の案内等広報の充実に努める。  
薬剤師研修・認定電子システムの円滑な運用開始のため、説明文書の作成・配付、説明会の開催など重点的な広報活動を行う。
- (2) 研修教材の編集、頒布等
- (ア) 医薬品承認申請ガイドブック、GLPガイドブック及びGCP/GPSPガイドブックの監修
- (イ) JPDI 2021の監修



## 令和3年度収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	4,215,000	4,419,000	△204,000	
基本財産受取利息	4,215,000	4,419,000	△204,000	
②受取会費	6,860,000	7,420,000	△560,000	
賛助会員受取会費	6,860,000	7,420,000	△560,000	
③受取寄附金	500,000	500,000	0	
受取寄附金	500,000	500,000	0	
④事業収益	538,044,000	647,527,000	△109,483,000	
研修認定	518,804,000	597,087,000	△78,283,000	
出版物等販売・編集・監修	19,240,000	50,440,000	△31,200,000	
受託作成事業	0	0	0	
⑤雑収益	1,000	50,000	△49,000	
経常収益計	549,620,000	659,916,000	△110,296,000	
(2) 経常費用				
①事業費	717,403,000	795,877,000	△78,474,000	
役員報酬	14,420,000	8,376,000	6,044,000	
職員給与	99,000,000	97,917,000	1,083,000	
通勤手当	3,370,000	3,220,000	150,000	
福利厚生費	17,500,000	17,100,000	400,000	
賃金雇上費	54,000,000	71,200,000	△17,200,000	
退職給付費用	6,050,000	5,903,000	147,000	
旅費交通費	14,560,000	19,560,000	△5,000,000	
通信運搬費	13,420,000	23,826,000	△10,406,000	
減価償却費	550,000	345,000	205,000	
印刷製本費	31,634,000	52,809,000	△21,175,000	
諸謝金	11,287,000	11,287,000	0	
会議費	17,590,000	15,340,000	2,250,000	
事務所費	27,455,000	27,455,000	0	
事務費	111,159,000	110,861,000	298,000	
業務委託費	272,300,000	316,100,000	△43,800,000	
諸雑費	0	0	0	
ソフトウェア償却費	23,108,000	14,578,000	8,530,000	
②管理費	8,767,000	18,231,000	△9,464,000	
役員報酬	1,000,000	7,044,000	△6,044,000	
職員給与	2,500,000	5,447,000	△2,947,000	
通勤手当	155,000	315,000	△160,000	
福利厚生費	607,000	900,000	△293,000	
賃金雇上費	0	0	0	
退職給付費用	15,000	44,000	△29,000	
旅費交通費	472,000	472,000	0	
通信運搬費	110,000	110,000	0	
減価償却費	35,000	25,000	10,000	
印刷製本費	25,000	25,000	0	
諸謝金	0	0	0	
会議費	20,000	21,000	△1,000	
事務所費	1,445,000	1,445,000	0	
事務費	2,383,000	2,383,000	0	
諸雑費	0	0	0	
経常費用計	726,170,000	814,108,000	△87,938,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△176,550,000	△154,192,000	△22,358,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△176,550,000	△154,192,000	△22,358,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除去損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△176,550,000	△154,192,000	△22,358,000	
一般正味財産期首残高	976,836,892	800,191,521	176,645,371	
一般正味財産期末残高	800,286,892	645,999,521	154,287,371	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	479,050,000	479,050,000	0	
指定正味財産期末残高	479,050,000	479,050,000	0	
III 正味財産期末残高	1,279,336,892	1,125,049,521	154,287,371	

## 令和3年度収支予算書(正味財産増減方式)(内訳表)

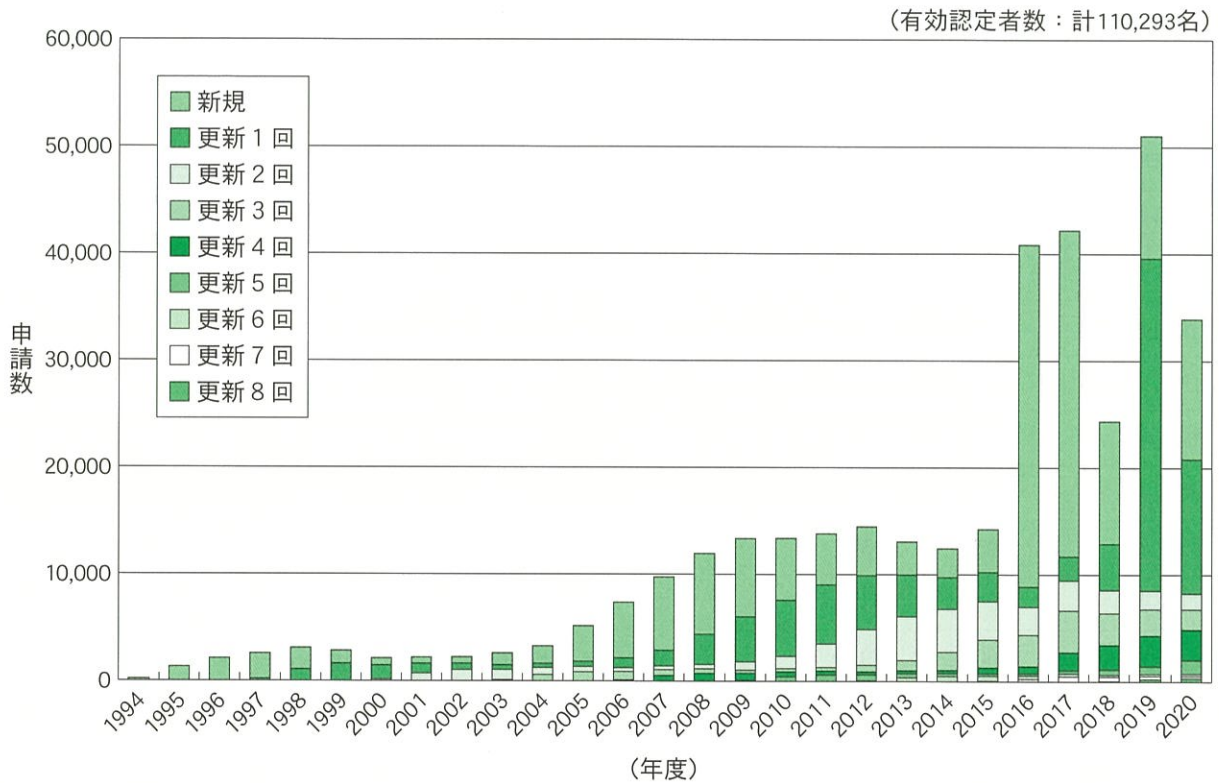
令和3年4月1日から平成4年3月31日まで

(単位:円)

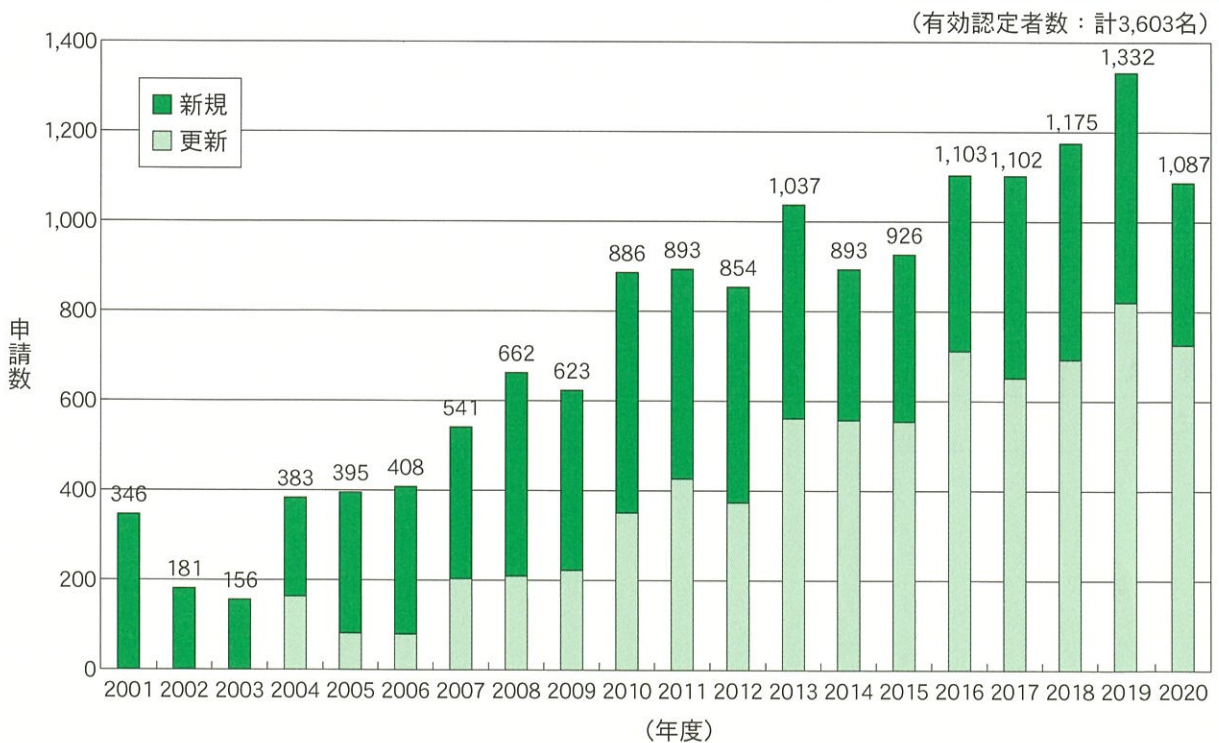
科 目	公益目的事業会計 (研修認定事業)		収益事業会計 (出版監修事業) (受託作成事業)		法人会計	内部取引控除	合 計
				(小計)			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	2,107,500	0	0	0	2,107,500	0	4,215,000
基本財産利息収入	2,107,500	0	0	0	2,107,500	0	4,215,000
受取会費	0	0	0	0	6,860,000	0	6,860,000
賛助会員会費収入	0	0	0	0	6,860,000	0	6,860,000
受取寄付金	250,000	0	0	0	250,000	0	500,000
寄付金収入	250,000	0	0	0	250,000	0	500,000
事業収益	518,804,000	19,240,000	0	19,240,000	0	0	538,044,000
研修認定	518,804,000	0	0	0	0	0	518,804,000
出版物等販売・編集・監修	0	19,240,000	0	19,240,000	0	0	19,240,000
受託作成事業	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	1,000	0	0	0	0	0	1,000
経常収益計	521,162,500	19,240,000	0	19,240,000	9,217,500	0	549,620,000
(2) 経常費用							
①事業費	703,176,000	14,227,000	0	14,227,000	0	0	717,403,000
役員報酬	14,390,000	30,000	0	30,000	0	0	14,420,000
職員給与	98,100,000	900,000	0	900,000	0	0	99,000,000
通勤手当	3,333,000	37,000	0	37,000	0	0	3,370,000
福利厚生費	17,334,000	166,000	0	166,000	0	0	17,500,000
賃金雇上費	54,000,000	0	0	0	0	0	54,000,000
退職給付費用	6,038,000	12,000	0	12,000	0	0	6,050,000
旅費交通費	14,536,000	24,000	0	24,000	0	0	14,560,000
通信運搬費	13,410,000	10,000	0	10,000	0	0	13,420,000
減価償却費	512,000	38,000	0	38,000	0	0	550,000
印刷製本費	23,634,000	8,000,000	0	8,000,000	0	0	31,634,000
諸謝金	11,287,000	0	0	0	0	0	11,287,000
会議費	17,590,000	0	0	0	0	0	17,590,000
事務所費	26,010,000	1,445,000	0	1,445,000	0	0	27,455,000
事務費	107,594,000	3,565,000	0	3,565,000	0	0	111,159,000
業務委託費	272,300,000	0	0	0	0	0	272,300,000
諸雑費	0	0	0	0	0	0	0
ソフトウェア償却費	23,108,000	0	0	0	0	0	23,108,000
②管理費	0	0	0	0	8,767,000	0	8,767,000
役員報酬	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
職員給与	0	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000
通勤手当	0	0	0	0	155,000	0	155,000
福利厚生費	0	0	0	0	607,000	0	607,000
賃金雇上費	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	15,000	0	15,000
旅費交通費	0	0	0	0	472,000	0	472,000
通信運搬費	0	0	0	0	110,000	0	110,000
減価償却費	0	0	0	0	35,000	0	35,000
印刷製本費	0	0	0	0	25,000	0	25,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	20,000	0	20,000
事務所費	0	0	0	0	1,445,000	0	1,445,000
事務費	0	0	0	0	2,383,000	0	2,383,000
諸雑費	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	703,176,000	14,227,000	0	14,227,000	8,767,000	0	726,170,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△182,013,500	5,013,000	0	5,013,000	450,500	0	△176,550,000
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△182,013,500	5,013,000	0	5,013,000	450,500	0	△176,550,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
固定資産除去損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	2,506,500	△2,506,500	0	△2,506,500	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△179,507,000	2,506,500	0	2,506,500	450,500	0	△176,550,000
一般正味財産期首残高	829,375,540	78,019,948	877,455	78,897,403	68,563,949	0	976,836,892
一般正味財産期末残高	649,868,540	80,526,448	877,455	81,403,903	69,014,449	0	800,286,892
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	239,525,000	0	0	0	239,525,000	0	479,050,000
指定正味財産期末残高	239,525,000	0	0	0	239,525,000	0	479,050,000
III 正味財産期末残高	889,393,540	80,526,448	877,455	81,403,903	308,539,449	0	1,279,336,892



研修認定薬剤師 認定証発行数の推移  
(2021年3月末日現在)



漢方薬・生薬認定薬剤師 認定証発行数の推移  
(2021年3月末日現在)



**認定実務実習指導薬剤師数**  
(2021年3月末現在)

勤務先都道府県	病院	薬局	その他	合計	勤務先都道府県	病院	薬局	その他	合計
北海道	612	980	4	1,596	滋賀県	128	262		390
青森県	81	168		249	京都府	296	515	2	813
岩手県	105	178	6	289	大阪府	681	1,414	5	2,100
宮城県	197	367	2	566	兵庫県	571	1,162	4	1,737
秋田県	70	127	3	200	奈良県	172	292		464
山形県	62	103	1	166	和歌山県	110	152		262
福島県	128	258	1	387	鳥取県	37	57		94
茨城県	136	318		454	島根県	43	75		118
栃木県	95	285		380	岡山県	186	230	1	417
群馬県	104	254	1	359	広島県	200	478		678
埼玉県	360	829	1	1,190	山口県	108	166	2	276
千葉県	402	721	2	1,125	徳島県	88	158	1	247
東京都	825	1,588	7	2,420	香川県	71	153	1	225
神奈川県	438	945	1	1,384	愛媛県	93	204		297
新潟県	175	368		543	高知県	47	74		121
富山県	95	173		268	福岡県	268	673	2	943
石川県	109	221	4	334	佐賀県	48	116		164
福井県	72	114		186	長崎県	79	226		305
山梨県	93	139		232	熊本県	112	246		358
長野県	141	339		480	大分県	73	123		196
岐阜県	115	220	3	338	宮崎県	97	164		261
静岡県	182	446	1	629	鹿児島県	103	198		301
愛知県	447	785	2	1,234	沖縄県	64	86	1	151
三重県	104	266	2	372	<b>合計</b>	<b>8,823</b>	<b>17,416</b>	<b>60</b>	<b>26,299</b>